

平成29年度 川上ダム建設事業の概要

平成29年6月18日

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

川上ダム建設事業実施計画

現計画

: 川上ダム建設事業に関する事業実施計画 第3回変更 (H27.3.31認可)

○場所 : 淀川水系前深瀬川
 左岸 三重県伊賀市青山羽根地先
 右岸 三重県伊賀市阿保地先

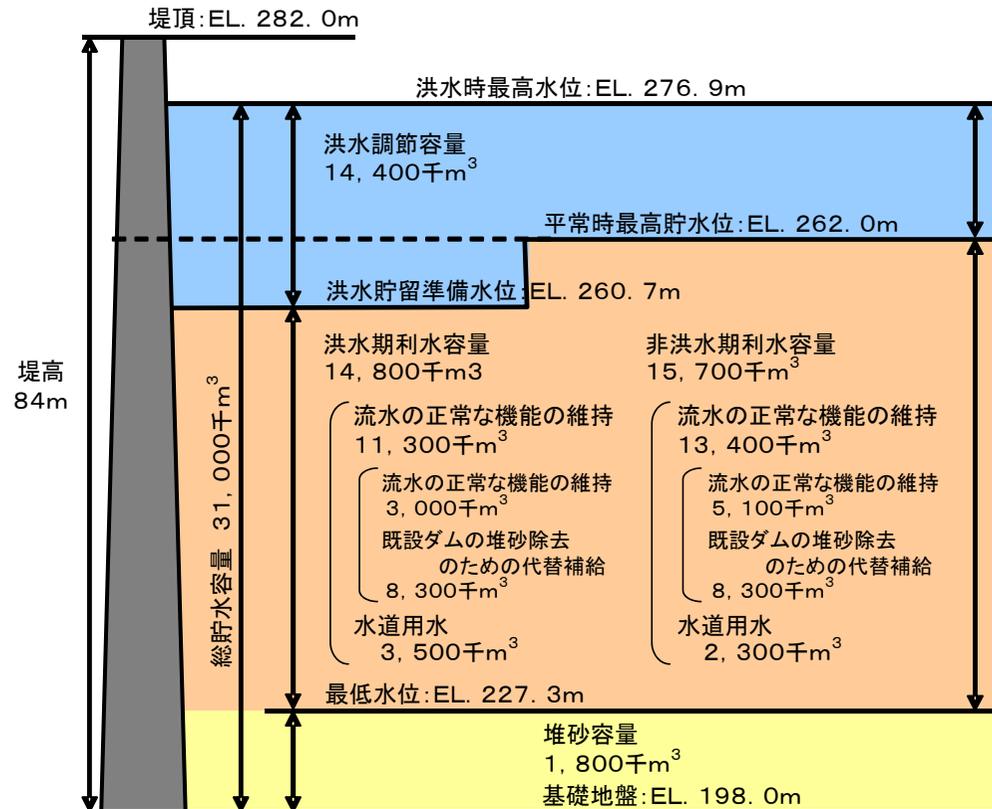
○目的 : 洪水調節
 流水の正常な機能の維持
 (既設ダムの堆砂除去のための
 代替補給を含む)
 水道用水の確保(三重県伊賀市)

○総事業費: 約1,180億円(平成26年価格)
 ※事業縮小に係る水道等撤退負担金
 概ね10億円を含む

○工期 : 平成34年度まで

○堤体諸元等:
 型式 重力式コンクリートダム
 堤高 84m(堤頂標高EL.282.0m)
 堤頂長 334m
 集水面積 54.7km²
 湛水面積 1.04km²
 総貯水容量 31,000,000m³
 洪水時最高水位 EL.276.9m
 平常時最高貯水位 EL.262.0m

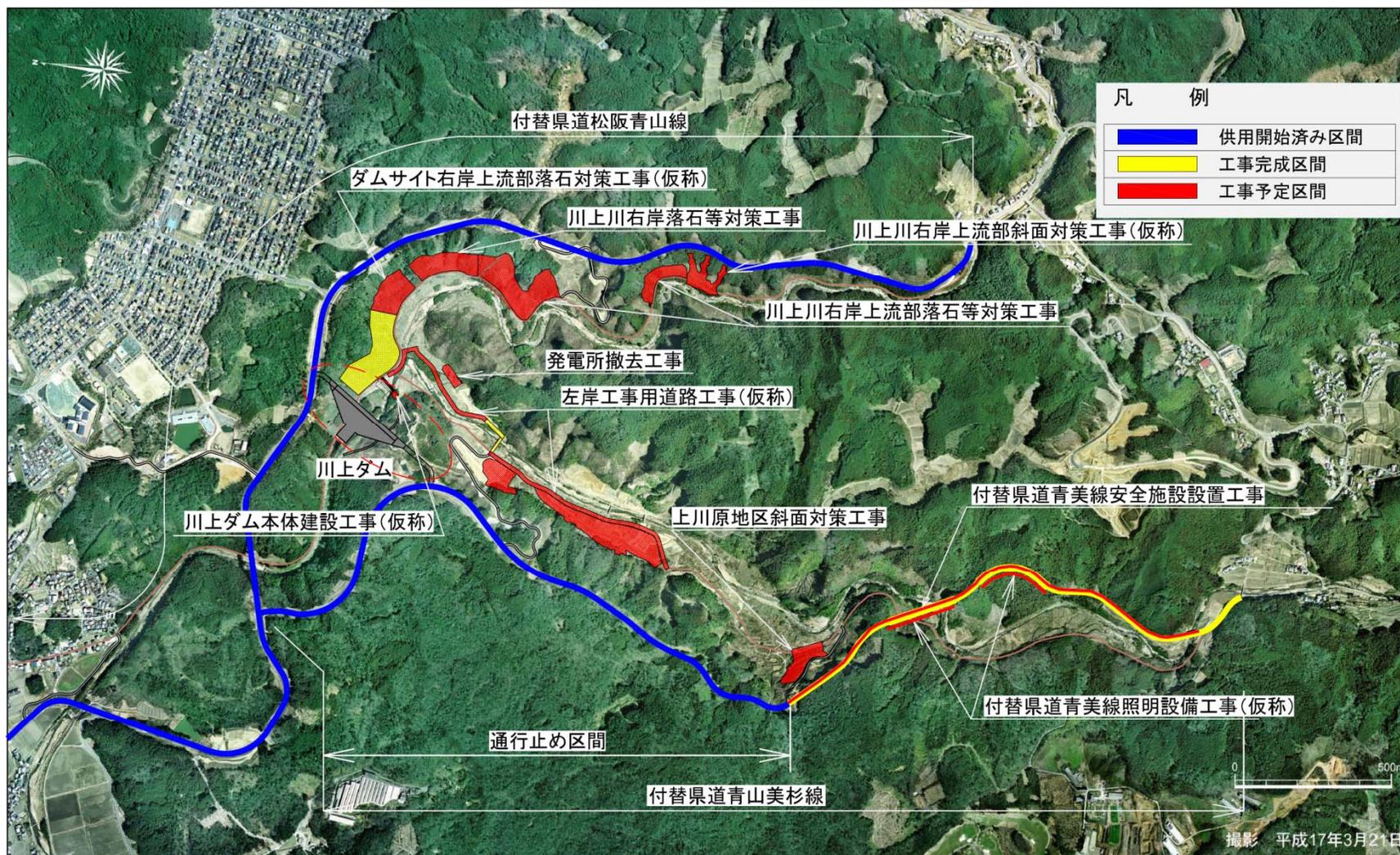
川上ダム貯水池容量配分図



平成29年度 事業実施概要

実施内容：ダム本体工事及び工事用道路、付替県道工事、関連工事の調査・測量設計、環境保全対策、水理水文調査等を実施する予定

平成29年度 川上ダム建設事業概要図



川上ダム建設事業の状況



川上ダムサイト付近 進捗状況



ダム本体工事には大型の建設機械が必要となります。
これらの建設機械が通る道を作ります



ダム本体工事の際、斜面の下にある道路を通行するため地表に見えている大きな岩が落ちないように対策します

川上ダム付替県道工事 進捗状況



(平成20年11月17日 全線供用開始)
松阪青山線(要石大橋)



(現在通行止め)
青山美杉線



(平成24年5月完了)
青山美杉線(北野トンネル)



平成29年3月末時点

青山美杉線は、全線で概成(一部区間すでに完成)し、平成29年冬前に供用開始



平成29年3月末時点

青山美杉線



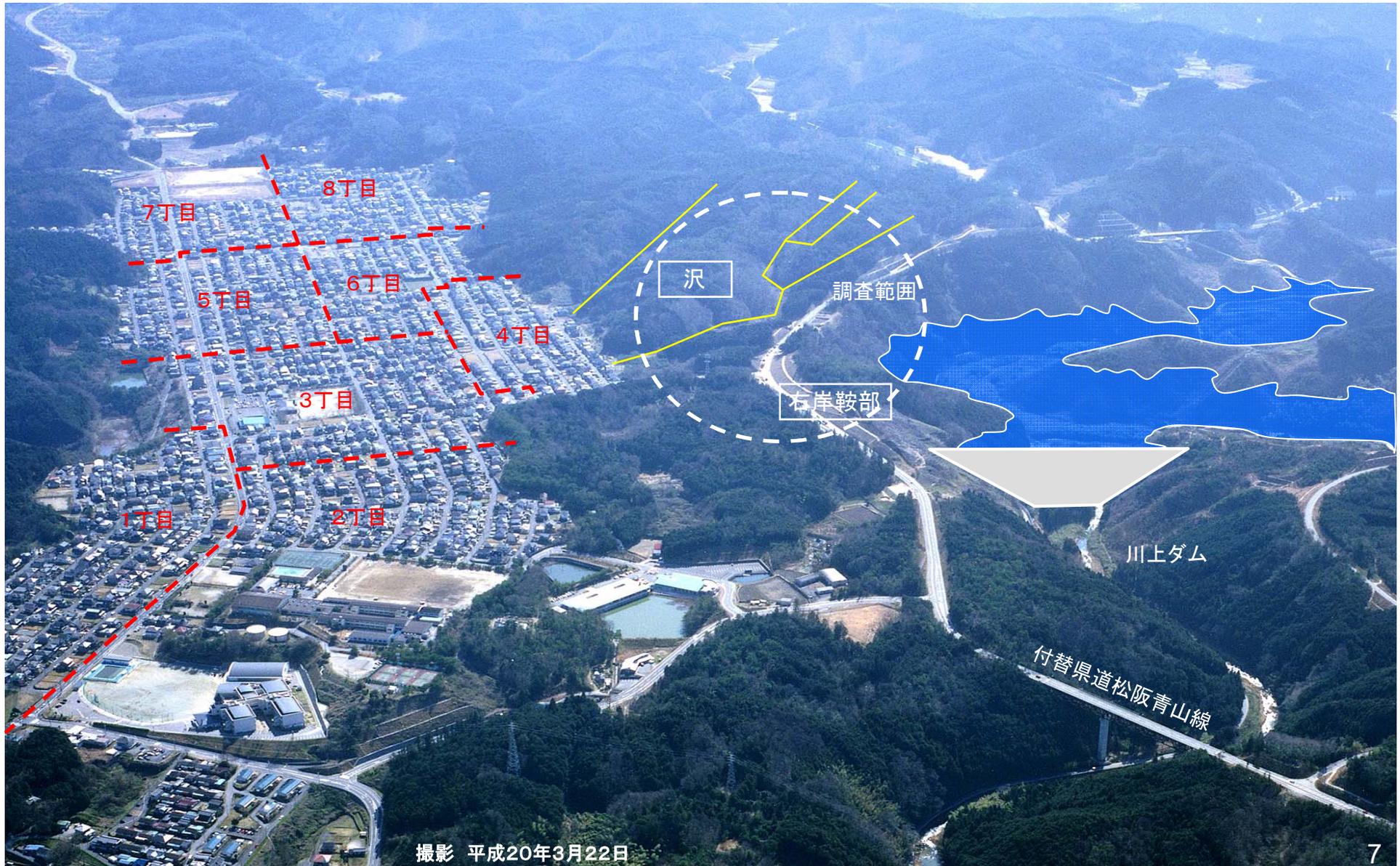
平成25年12月 完了

青山美杉線(猫また大橋)

右岸鞍部周辺の地下水位について

～H28年度湧水調査結果の報告～

桐ヶ丘団地と川上ダム貯水池



右岸鞍部周辺の既往調査

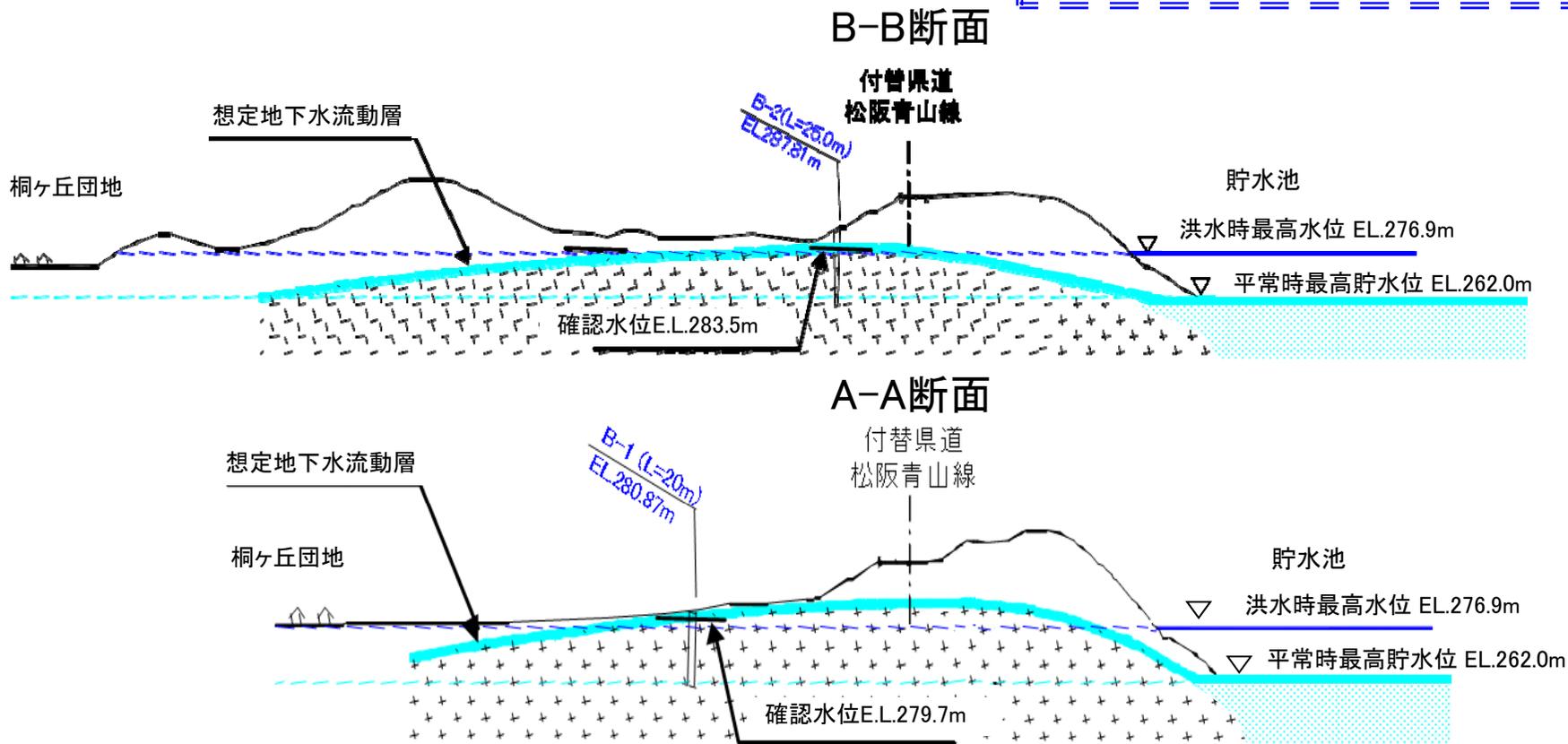


右岸鞍部の特徴

- ・地質が強固な岩盤
- ・地下水位が高い
- ・沢の湧水が多い

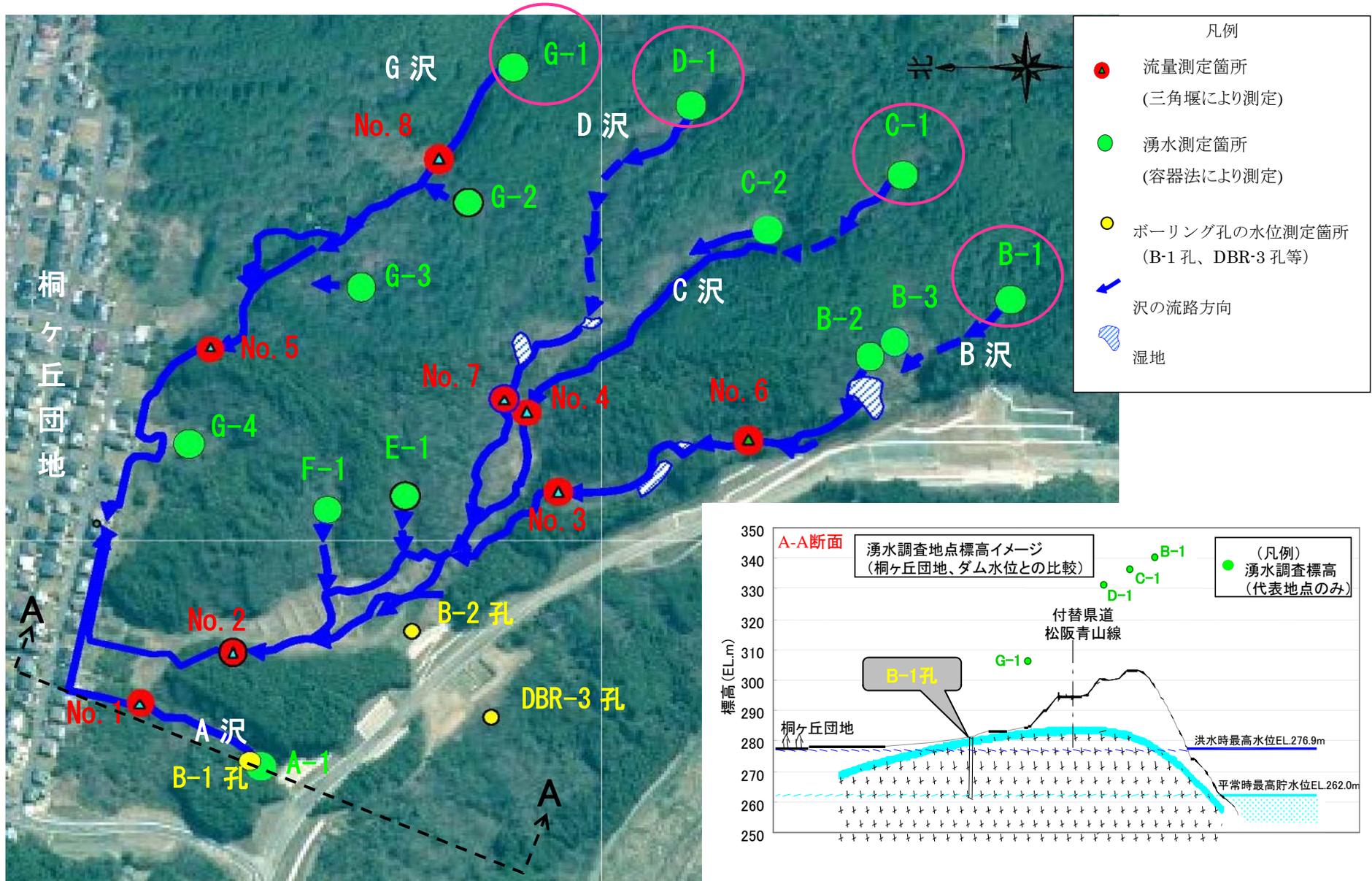


ダム完成後に水を貯めても、その水が桐ヶ丘団地側に流れ込むことはない。



沢からの湧水調査を継続して実施し、地下水位の状況を確認しています。

平成28年度 沢部の湧水調査の結果について



山頂に近い付近まで湧水が確認されました。



H29.02.03 (直近に降雨が無い日)の湧水状況

桐ヶ丘地区自治会現地確認状況 (平成29年3月24日)



(a) 湧水の確認状況 (No. 3地点)



(b) 湧水量測定状況 (C-2地点)

例年と変わらない湧水を確認

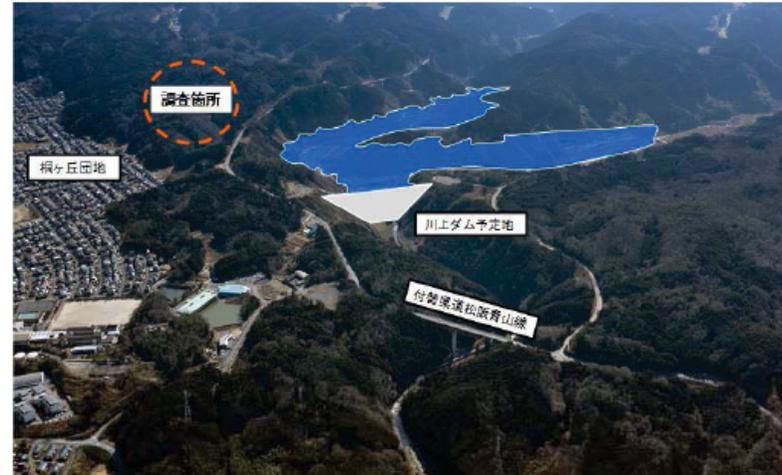
3月24日（金）、桐ヶ丘団地と付替県道松阪青山線間の尾根において、桐ヶ丘自治会の皆様と当建設所職員で湧水調査を行いました。

この調査は、桐ヶ丘自治会の皆様から『ダムに貯まった水が団地側へ流れてくるのではないかとのご心配の声をいただいているため、平成21年より毎年実施しているものです。』

例年と同じ2箇所では沢水の水量調査を行ったところ、1箇所目では、目視により沢の流れが例年と同じ様子であることを確認しました。



メスシリンダーを使って水量計測



調査場所

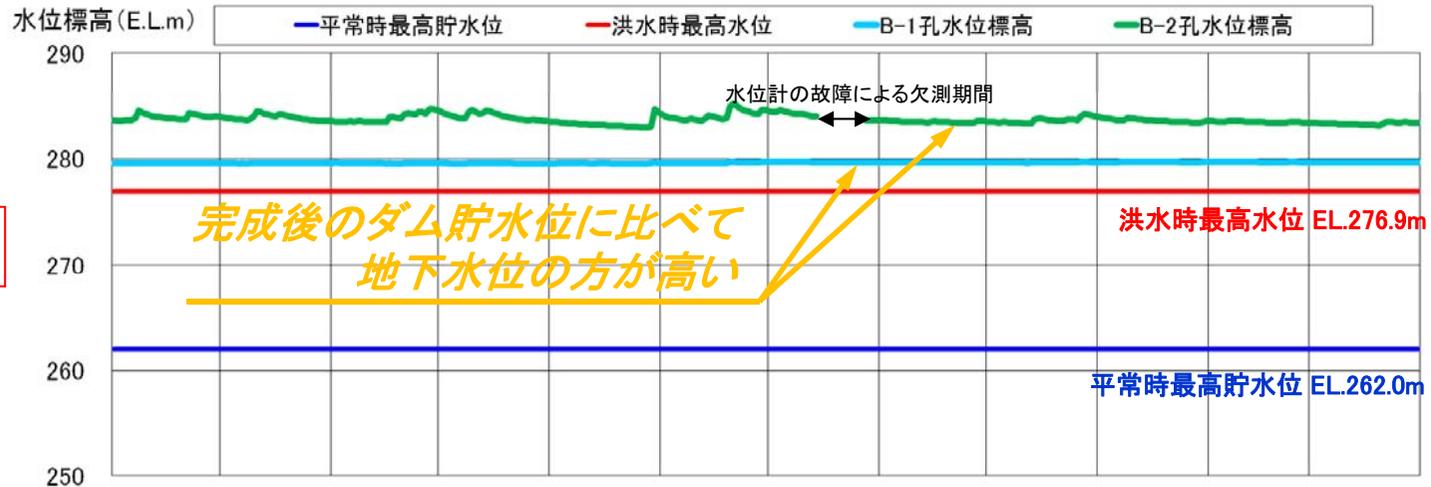
2箇所目では、ストップウォッチとメスシリンダーを使って沢の水量を計測したところ、こちらも平常並みの水量があることを確認しました。

当建設所では、これまで実施した地質や地下水位の調査により、調査場所周辺の岩盤はダムサイトと同様に強固であり、現状の地下水位が常に貯水池の最高水面よりも高い位置にあることから、貯水池の水が桐ヶ丘団地側に流れ込むことが無いことを確認しています。

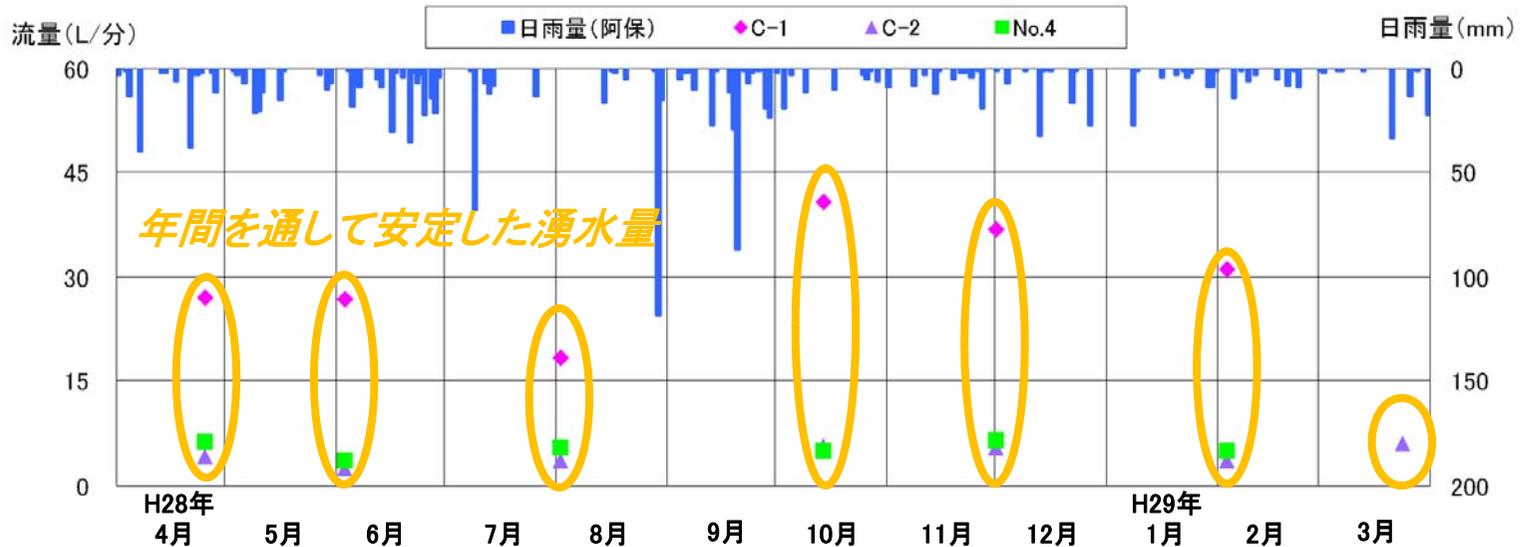
今後とも桐ヶ丘団地の住民の皆様にご安心いただけるよう、引き続き湧水調査を行ってまいります。

平成28年度の調査結果

地下水位



湧水
(C沢)



◇ 年間を通して、完成後のダム貯水位に比べて地下水位が高いことを確認しています。

◇ 各沢とも常時安定した湧水量を確認しています。

降雨の有無に関わらず、右岸鞍部周辺では湧水が確認されていることから、地下水位が高いまま維持されていると考えられます。

湧水調査実施の お知らせについて

- 今年度も湧水等の調査を実施します。
- 現地状況の確認と水量・水温等の観測を行います。
- 桐ヶ丘4丁目の皆様には事前にお知らせチラシを配布しています。

川上ダム建設所より桐ヶ丘4丁目の皆様へ お知らせ

川上ダム建設事業につきましては、平素より格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、川上ダム建設所では、ダム(貯水池)予定地と桐ヶ丘団地の間における湧水等の状況を把握するための調査を昨年度に引き続き行います。

調査の内容は、以下のとおりです。

ご理解とご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

- 調査目的：ダム(貯水池)予定地と桐ヶ丘団地の間における湧水等の状況把握
- 調査内容：現地状況確認、水量・水温等の観測
- 調査範囲：裏面の図面をご参照ください
- 調査期間：平成29年4月下旬～平成30年3月中旬
 - ・調査は上記期間のうち、偶数月に実施する予定です。
(平成29年4月、6月、8月、10月、12月、平成30年2月)
 - ・調査は昼間に実施させていただきます。
- 調査業者：ジオテクノス 株式会社
現場責任者：
 - ・調査員は5名程度で、“川上ダム”と入った黄色の腕章をしています。
 - ・4月の調査につきましては4/20(木)及び4/21(金)に実施させていただく予定です。
※調査日は天候等の影響で延期させていただく場合があります。

ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせ下さい。

(問い合わせ先)

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保251番地 電話(0595)52-1661
調査設計課 小牧 健二(こまき けんじ)

ダム本体工事について

川上ダム建設事業工程

○平成29年度
○平成34年度

川上ダム本体建設工事着手
川上ダム建設事業完成

※写真は比奈知ダムの事例です

付替道路



ダムに沈む道路の代わりに新しい道路を作ります

工事用道路



工事に必要な道路を作ります

転流工※



工事を行うため川の
流れをトンネル等により
切り替えます

基礎掘削※



丈夫な岩盤まで掘削します

仮設備工※



コンクリートなどを作る設備をつくります

本体打設※



コンクリートでダム本
体を作ります

管理設備※



ダムの管理に必要な
設備を設置します

試験湛水※



水を貯めてダムの安全を確認します

→ 完成

川上ダム本体建設工事概要図



工事工程(案)

項目	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
付替道路	■					
工事用道路	■	■				
転流工		■				
仮設備			■	■		
基礎掘削		■				
本体打設				■	■	
管理設備				■	■	
試験湛水						■

(注) 工事工程は、工事の受注者の計画により、今後変更になる場合があります。

主な工事内容

○基礎掘削

(作業日)

- ・原則として平日及び土曜日に作業を実施します。

(作業内容)

- ・ 堅い岩が出てきたら、1日1回、毎回同じ時間帯に発破作業を行うことを想定しています。極力小規模な発破作業を考えています。また、適宜散水を行い、粉じんの発生を抑えます。
- ・ 発破作業時には、安全確保のため付替県道松阪青山線と付替県道青山美杉線を10分間程度通行止めになります。
- ・ 阿保地区、青山羽根地区、桐ヶ丘地区からは直接見えない場所での作業となります。



基礎掘削前



基礎掘削後

(注) 写真は他ダムの事例であり、イメージを示しているものです。

主な工事内容

○本体打設

(作業日)

- ・原則として平日及び土曜日に作業を実施します。
- ・コンクリートの保護や次の打設準備などの作業は、休日も行っていることがあります。

(作業内容)

- ・作業中に発生する音は、コンクリートを運ぶ際に安全に作業を行うための合図（音楽等）程度です。阿保地区、青山羽根地区、桐ヶ丘地区からは、直接見えない場所での作業です。
- ・大きな振動が発生する作業はないと考えています。
- ・照明は必要に応じて使用しますが、作業現場を下向きに照らすことを考えています。



(注)写真は他ダムの事例であり、イメージを示しているものです。 20

主な工事の作業日と生活環境への影響

○仮設備運転

(作業日)

- ・原則として平日及び土曜日に作業を実施します。
- ・設備点検や場内整備などの作業は、休日も行うことがあります。

(作業内容)

- ・骨材をセメントと練り混ぜ、コンクリートを製造する等の作業をします。
- ・阿保地区、青山羽根地区、桐ヶ丘地区からは直接見えない場所での作業です。



コンクリート製造設備

資機材の運搬計画

○主な資機材と運搬機械

- ・ 砕石、鉄筋、木材、セメント、重機などを10トン積ダンプトラック、トレーラなどで運搬します。



○運搬の時期

- ・ 平成30年頃から平成33年頃までが、主な運搬時期と想定しています。

○運搬道路と資機材運搬車両の進入禁止

- ・ 運搬には公道を使用します。また、阿保地区、青山羽根地区、桐ヶ丘地区の住宅地内の道路は資機材運搬に使用しません。

○運搬作業日

- ・ 原則として平日及び土曜日に運搬作業を実施します。

○交通安全対策

- ・ 制限速度、交通ルール遵守を徹底します。必要な場所に交通誘導員を配置し、安全を確保します。

(注)写真は他ダムの事例であり、イメージを示しているものです。 22

本体工事における配慮

○工事期間中の環境への配慮

- ・ 施工範囲における適宜散水等による粉じん対策や、工事区域外へ出る工事用車両のタイヤ等の付着泥を落とす等の対応に努めるよう促します。
- ・ 発生した濁水は、濁水処理設備を通して、きれいにしてから河川に流します。
- ・ 低騒音型、低振動型の機械使用、発破時の適量火薬使用による騒音、振動の低減に努めるよう促します。



- ・ さらに発注時点において、「環境に配慮した施工方法に関する提案」を求めています。

大気環境調査(騒音・振動、降下ばいじん量)の実施



※「騒音・振動調査」と「降下ばいじん量調査」は同一場所で実施しています。

本体工事における配慮

○地元企業等への配慮

- ・ 三重県内業者の下請け努力規定を設定します。
- ・ 下請け業者への支払い状況の報告・公表をします。
- ・ 現場事務所設置や地元製品の消費に努めるよう促します。



○地元に親しまれるダムづくり

- ・ 機構及び施工業者によるダム現場の見学会を開催します。
- ・ ダム周辺整備を地元と一緒に考えていく懇談会を設置します。



(注)写真は他ダムの事例であり、イメージを示しているものです。



川上ダム完成予想図

